

キーウェアグループの さらなる企業価値向上に向けて

クリエイティブな発想でITの可能性を現実のものにしていくキーウェアグループ。その基となるガバナンス体制の印象や、さらなる飛躍のために取り組むべき課題などについて、社外取締役である岡田勝利氏、野田万起子氏、ステファン グスタフソン氏に率直にお話しいただきました。

Q キーウェアグループのコーポレートガバナンス体制に対する印象をお聞かせください

岡田 キーウェアグループは株主のみならず、お客様、従業員、協力会社様に対して、会社の経営状況や経営戦略等を定期的に開示しており、全ステークホルダーからの信頼は得ていると思います。また経営層から独立した社外取締役が委員長を担った報酬委員会や指名委員会も早期に設置されており、コーポレートガバナンス体制に十分配慮していると感じます。

野田 私もそう思います。現在、さまざまな業界で上場企業の取締役会の体制が問われておりますが、キーウェアグループの取締役会はダイバシティが担保されており、取締役の構成も適切になされていると感じます。議論も活発になされ、意見交換がしやすい環境ですので、ガバナンスに対する対応は問題ないと思います。

ステファン 私はスウェーデン出身ということもありダイバシティに関しては視野を広げてきましたが、キーウェアグループは多様性に富んだオープンで誠実な雰囲気のある会社であり、人材構成やガバナンスに対する問題はないと思います。コミュニケーション

も取りやすく風通しの良い環境です。そうした会社の風土は、取締役会においても十分に発揮されているのではないのでしょうか。

Q 企業価値向上のためにキーウェアグループが取り組むべきことは何ですか

岡田 社員の多様性は、CSRの観点からだけではなく、その能力を最大限発揮できる職場づくりが目的でもあり、経営上の成果が求められます。私自身も長年、情報処理のシステム開発を通じて、地元中小企業の再建や地域活性化の一助を果たしてきましたが、近年は競争の激化や少子高齢化など厳しい環境下にあります。女性や外国人及び高齢者の活躍等の多様性は経営上不可欠です。キーウェアグループにおいても当たり前の施策であるという意識を全社員に一層浸透させることが必要でしょう。

野田 これはキーウェアグループに限ったことではありませんが、ビジネスモデルの転換は必要不可欠だと思います。キーウェアグループは大分類では「サービス業」です。製造業とは違い、お金の流れが複雑で、取引先によってもプロジェクトによっても異なり

ます。これまでのビジネスモデルを変えることは非常に難しい経営課題ではありますが、社員一丸となって突破するための知恵を絞っていきたくと思います。

ステファン キーウェアグループは長年にわたりさまざまな分野で社会インフラを支えてきた企業ですので、他社にはない強みはしっかりと根付いていると思います。しかし時代は急速に変化しています。例えばDXの加速に伴った、スピーディー・高品質・低コストのサービスを開発することも重要だと考えています。今後は、資本効率やESGなどに配慮しながら、これまで培ってきた強みを磨き、改革推進に直結する事業環境の整備が必要と言えるでしょう。

Q 最後に、今後のキーウェアグループに期待することをお聞かせください

野田 キーウェアグループの強みは何といっても人材です。私も地元の静岡で「女性活躍推進」や「女性起業家の支援」などを行っており、人材育成の重要性を常々実感しております。ダイバシティやサステナビリティを考えて行く中で、今後のキーウェアグループの成長・発展を支える人材育成は必須だと思います。

す。キーウェアグループのサービスソリューションを駆使し、社会の課題を解決する会社として成長・発展していくことを大いに期待しています。

ステファン 私も人材については重要な課題であると認識しています。個々の意見は違ったとしても、優先順位をどこに持っていか、方向性は間違っていないか等確かめながら纏め上げる管理職者の重責もあるかと思っています。新しいドメインへの参入や新しいサービスの創造、新しい提携先と技術者確保のためのパートナーシップ作りなど取り組むべき課題も山積しています。今後もSDGsの達成に貢献するとともにさまざまな取組みを並行し進めていけたらと思います。

岡田 市場環境の変化に伴い経営の不確実性は増大しており、従来の人材活用に対して変革が求められています。キーウェアグループは、官庁、製造業、流通業、医療等幅広い業種のお客様に対応しており、その幅広い業種を多彩なビジネスソリューションによって変革させてきました。そうした実績を部門間の連携により、多様化するお客様のニーズ・課題に応える「高付加価値・提案型企業」へと発展していく大きなチャンスです。キーウェアグループがお客様からさらに期待される企業へと飛躍していくことを祈念しています。

社外取締役
ステファン グスタフソン

社外取締役
岡田 勝利

社外取締役
野田 万起子